

日本分析化学会第72年会

【日本分析化学会第72年会実行委員会 Web サイト】

<https://confit.atlas.jp/jsac72nenkai>

【日本分析化学会第72年会講演申込スケジュール】

- ・講演申込締切：2023年6月7日（水）（厳守）
- ・講演要旨締切：2023年7月5日（水）（厳守）

2023年度液体クロマトグラフィー分析士
四段認証試験

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2023年6月5日（月）14時～15時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

四段資格のイメージ 「学会発表、投稿を通して、技術的議論が行え、講習会の講師が務まるレベル。また、当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し、博士の学位に相当する学識経験を有する。」

分析士四段認証試験 分析士四段試験では書類選考試験（事前提出）と筆記試験（記述式）とを総合して合否を決定します。書類選考用資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LCに関する研究・業務経験、⑦論文発表（適当数）、⑧口頭発表（適当数）、⑨学位の有無、⑩LC分析士三段の登録番号、⑪その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください（お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません）。筆記試験には、1) 英文和訳問題、2) 与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題、の2題が出題され90分以内に解答していただきます。

受験料 8,800円（合格者は登録料5,500円を別途申し受けま
す）

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士三段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料を銀行振込後、書類選考用資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 5月25日（木）

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義：（公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

資料送付先・問合せ先 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係
[E-mail : nakamura@jsac.or.jp]

2023年度液体クロマトグラフィー分析士
五段認証試験

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2023年6月6日（火）14時～15時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

五段資格のイメージ 「分析士を育成・指導できるレベル（師範）。論文の査読・指導、学位論文の審査、国際会議において存在価値が評価される質疑応答ができる。」

分析士五段認証試験 分析士五段試験では書類選考試験（事前提出）、筆記試験（記述式）及び面接試験を総合して合否を決定します。書類選考用資料には、①氏名、②生年月日、③

現職、④学歴、⑤職歴、⑥LCに関する研究・業務経験、⑦論文発表（適当数）、⑧学位の有無、⑨講習会・講演会における講師等の実績、⑩論文査読の経験、⑪学位論文審査の経験、⑫組織委員・実行委員等の実績、⑬国際会議における座長・依頼講演等の実績、⑭LC分析士四段の登録番号、⑮その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください（お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません）。筆記試験には、与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題が出題され45分以内に解答していただきます。面接試験は筆記試験後に30分程度行います。

受験料 9,900円（合格者は登録料6,600円を別途申し受けま
す）

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士四段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、書類選考用資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 5月26日（金）

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義：（公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

資料送付先・問合せ先 （公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係
[E-mail : nakamura@jsac.or.jp]

2023年度LC/MS分析士
四段認証試験実施のお知らせ

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2023年6月12日（月）10時～11時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

四段資格のイメージ 「学会発表、投稿を通して、技術的議論が行え、講習会の講師が務まるレベル。また、当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し、博士の学位に相当する学識経験を有する。」

分析士四段認証試験 分析士四段試験では書類選考試験（事前提出）と筆記試験（記述式）とを総合して合否を決定します。書類選考用資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LC/MSに関する研究・業務経験、⑦論文発表（適当数）、⑧口頭発表（適当数）、⑨学位の有無、⑩LC/MS分析士三段の登録番号、その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください（お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません）。筆記試験には、1) 英文和訳問題、2) 与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題、の2題が出題され90分以内に解答していただきます。

受験料 8,800円（合格者は登録料5,500円を別途申し受けま
す）

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士三段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料を銀行振込後、書類選考用資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 6月2日（金）

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義：（公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

資料送付先・問合せ先 （公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係

[E-mail : nakamura@jsac.or.jp]

第40回無機・分析化学コロキウム

2023年度LC/MS分析士
五段認証試験実施のお知らせ

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2023年6月12日(月)14時~15時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

五段資格のイメージ「分析士を育成・指導できるレベル(師範)。論文の査読・指導、学位論文の審査、国際会議において存在価値が評価される質疑応答ができる。」

分析士五段認証試験 分析士五段試験では書類選考試験(事前提出)、筆記試験(記述式)及び面接試験を総合して合否を決定します。書類選考用資料(体裁は自由)には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LC/MSに関する研究・業務経験、⑦論文発表(適当数)、⑧学位の有無、⑨講習会・講演会における講師等の実績、⑩論文査読の経験、⑪学位論文審査の経験、⑫組織委員・実行委員等の実績、⑬国際会議における座長・依頼講演等の実績、⑭LC/MS分析士四段の登録番号、⑮その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には、与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題、が出題され45分以内に解答していただきます。面接試験は筆記試験後に30分程度行います。

受験料 9,900円(合格者は登録料6,600円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士四段試験に合格、登録された方に限ります。

申込方法 受験料を銀行振込後、書類選考用資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 6月2日(金)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義:(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

資料送付先・問合せ先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係
[E-mail : nakamura@jsac.or.jp]

2023年マイスター認定のお知らせ

LC研究懇談会は、①分析士五段の資格を5年以上保持、②分析士五段としての社会的貢献が顕著、③LC研究懇談会の個人会員、の3条件を満たした方を、マイスターとして認定する制度を2023年から始めました。推薦いただいた方々を認定委員会で検討の結果、下記の方々を2023年マイスターとして認定したことをお知らせいたします。

LC研究懇談会

LCマイスター

第001号(LC)中村 洋(東京理科大学)、

第002号(LC)三上博久(株島津総合サービス)

LC/MSマイスター

第001号(MS)中村 洋(東京理科大学)、

第002号(MS)竹澤正明(株東レリサーチセンター)

主催 (公社)日本化学会東北支部

共催 (公社)日本分析化学会東北支部

会期 2023年5月26日(金)・27日(土)

会場 協同の社JA研修所〔山形市東古123、交通:山形駅西口からバス利用、替所・下原・西滝の平方面、「飯塚橋」下車徒歩約12分〕

<https://www.nokyo.or.jp/kyodo/k-top>

招待講演

1. 山形大学で進める加速器研究の最前線

(山形大理)門叶冬樹

2. 奇妙な原子、ミュオン原子の形成過程とその応用

(大阪大放射線科学基盤機構)二宮和彦

依頼講演

1. 微小タンパク質液滴からのアミロイド核生成速度の計測

(東北大多元研)福山真央

2. 高曲率性脂質膜を標的とした分子ツールの設計と応用

(東北大理)佐藤雄介

3. 光で動く分子マシンとその活用 (東北大理)豊田良順

他4件

参加費 一般:14,000円、学生:7,000円(夕・朝食付き、宿泊料込み)

参加申込締切 定員(100名)になり次第、締切といたします。

参加申込方法 E-mailにて下記へお問い合わせください。

申込・問合せ先 東北大学理学研究科化学専攻 山下琢磨

[電話:022-795-6597, E-mail: tyamashita@tohoku.ac.jp]

2023年度「ぶんせき講習会」(基礎編その2)

化学分析の基礎講座~実験用基本器具、マイクロピペット、電子天びん、およびpHメーターの原理と使い方

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部、近畿分析技術研究懇談会

協賛 (公社)化学工学会関西支部、(一社)近畿化学協会、(公社)日本化学会近畿支部、(公社)有機合成化学協会関西支部、(公社)高分子学会関西支部、(一社)日本鉄鋼協会関西支部(公社)日本金属学会関西支部関西分析研究会

化学分析のみならず、合成・物性測定など化学実験や培養などのバイオ実験を行う上で、試薬の秤量や調合は実験の質を左右する重要なファクターになります。最近では機器のデジタル表示やパソコンの普及により、これらの操作における測定値は容易に得られるようになりましたが、正しい値や信頼性のある値を得るためには、実験器具の適切な使い方や、機器の正しい校正法や操作方法を理解・修得することが必要です。そこで、本講習会では、主に初心者(研究室配属直後の学生や新入社員)や基礎から学びなおしたい人を対象に、化学実験の基礎となる秤量・調合・溶液調製をより適切に行えるための講義と実習を企画しました。ピペット・メスフラスコなどの実験用基本器具、マイクロピペット、電子天びんおよびpHメーターの基本操作を原理も含めて習得できます。

期日 2023年6月16日(金)9.50~17.15(受付9.30~)

会場 (株堀場テクノサービス新本社ビル〔京都市南区吉祥院宮の東町2、電話:075-313-8125、交通:阪急京都線「西京極」駅下車徒歩15分、またはJR東海道本線「西大路」駅下車徒歩13分。詳細は下記URL参照

<https://www.horiba.com/jpn/company/group-companies/asia/japan/horiba-techno-service-co-ltd/kyoto/>

講習内容 実験用基本器具、マイクロピペット、電子天びん、

および pH メーターの原理と使い方

対象者 学生や新入社員および基礎から学びなおしたい方

講習プログラム

0. はじめに (9:50~10:00) (関西学院大学) 壺井基裕
1. 講義「実験用基本器具の原理と取扱い方」(10:00~10:30)
(神戸大院海事) 堀田弘樹
 - ・ ガラス製体積計 (測容器) の取扱い~受用, 出用各器具の取扱い~
 - ・ 標準溶液の調製
2. 「マイクロピペットの取扱い方と管理方法 (実習付き)」
(10:40~11:40) (エー・アンド・デイ) 相良 卓
 - ・ マイクロピペットの規格, 構造, 選択, 基本的な操作方法, 維持管理
 - ・ 精度よく分注するために~揮発性のある液体, 粘性のある液体の分注方法~
 - ・ 電動ピペット操作方法~通常分注と連続分注~
3. 「電子天びんの原理と取扱い方 (実習付き)」
(12:40~14:30) (島津製作所) 浜本 弘
 - ・ 電子天びんの据付, 感度調整
 - ・ 天びんの環境や測定目的に応じた使い方
 - ・ 天びんの点検方法
 - ・ 応用測定
 - ・ 天びんの取扱い
4. 「pH メーターの原理と取扱い方 (実習付き)」
(14:40~16:30) (堀場アドバンスドテクノ) 桑本恵子
 - ・ pH とは
 - ・ pH を測るには
 - ・ 測定した pH 値の不確かさ
 - ・ 電極のメンテナンス方法
 - ・ サンプルに適した pH 電極の選び方
5. (株)堀場テクノサービス Analytical solution plaza 見学
(16:45~17:15)

*参加者には事前に電子メールにて PDF 資料を送付します。
*当日はテキストの配布は行いませんので, 各自で PDF を印刷しての持参, あるいはタブレット等での準備をお願いします。

*主催者側で昼食を用意します。

参加費 主催・協賛団体所属会員: 7,000 円, 学生: 4,000 円, 会員外: 11,000 円

申込締切 6月9日(金), 定員(20名)。お申込受付は先着順とし, 定員になり次第, 締め切ります。6月10日以降のキャンセルは不可。

申込方法 参加を希望される方は, 近畿支部 HP (<http://www.bunkin.org/>) から本講習会のページに入ってください, 【参加申込フォーム】にて Web からお申し込みください。

*お申込み後, 自動返信メールが届きましたら, 開催日までに参加費のお支払いをお願いいたします。参加費は銀行口座(りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No.2340726, 名義: 公益社団法人日本分析化学会近畿支部)にお振り込みください。

*参加証と会場案内図・テキストダウンロード情報などをメールにて送付します。当日, この参加証を持参してください。

*コロナウィルスの感染状況により中止する可能性があります。変更などの詳細は, 近畿支部 HP にてご確認ください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 (公社)日本分析化学会近畿支部 [電話: 06-6441-5531, FAX: 06-6443-6685, E-mail: mail@bunkin.org, 近畿支部 HP: <http://www.bunkin.org/>]

問合せ先 関西学院大学 壺井基裕
[E-mail: tsuboimot@kwansei.ac.jp]

第29回化学安全講習会

主催 (公社)日本化学会近畿支部
協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部ほか
期日 2023年6月19日(月)・20日(火)
開催形式 19日オンライン, 20日対面
プログラム

第1日(10:00~16:00)・オンライン

1. 化学物質の発火・爆発危険性について
(産総研) 松永猛裕
2. 労働安全衛生規則等の一部を改正する省令(令和4年厚生労働省令第91号(令和4年5月31日))への対応について~住友化学における取り組みの紹介~
(住友化学) 稲若邦文
3. 化学プラントとリスクアセスメント
(京葉人材育成会) 中村昌允

第2日(10:00~16:30)・大阪科学技術センター

4. 事故事例から考える実験室・作業場の安全管理
(阪大安全衛生管理部) 山本 仁
5. 実験室・作業場における化学物質のリスクアセスメント
(阪大安全衛生管理部) 山本 仁
6. 実験で解説する静電気による火災・爆発を防止するための安全対策
(SL 経営) 蒲池正之介

参加費・申込方法 詳細は

<https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/anzen23.html>
をご参照ください。

申込締切 6月2日(金)

問合せ先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 日本化学会近畿支部 [電話: 06-6441-5531, E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp]

第384回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会, (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

LC及びLC/MS分析に用いられる装置やその関連技術(カラムや前処理システム, ソフトウェア等)は, 日進月歩で発展しています。本例会では, それらの技術進歩及び実現事例等について紹介していただきます。

期日 2023年6月20日(火) 13:00~17:10

会場 Zoom オンライン会場

講演主題 LC及びLC/MS分析における装置と関連技術の発展

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13:00~13:05)

(東ソー(株)) 伊藤誠治

(LC分析士五段, LC/MS分析士二段)

1. 高速・高分離を実現するためのLCおよびカラムの発展
(13:05~13:45) (日本ウォーターズ(株)) 島崎裕紀

(LC分析士三段, LC/MS分析士二段)

2. LCからLC/MS分析へのシームレスな移行を実現する装置と最新ソフトウェア(13:45~14:25)

(株)島津製作所 荒尾洋平(LC/MS分析士初段)

3. LC/MS分析における装置と関連技術の発展
(14:25~15:05)

(エムエス・ソリューションズ(株)/プレッパーズ/

浜松医科大学) 高橋 豊

(LC分析士二段, LC/MS分析士五段)

休憩 (15.05~15.20)

4. バイオコンパチブル LC の進歩—ハードウェアとアプリケーション (15.20~16.00)

(アジレント・テクノロジー(株) 熊谷浩樹
(LC 分析士四段, LC/MS 分析士二段)

5. SEC 装置とアプリケーションの進歩 (16.00~16.35)

(東ソー(株) 伊藤誠治
(LC 分析士五段, LC/MS 分析士二段)

6. 総括「LC 及び LC/MS 分析における装置と関連技術の発展」(16.35~17.10)

(東京理科大学) 中村 洋
(LC マイスター, LC/MS マイスター)

参加費 LC 研究懇談会・個人会員:1,000 円, 後援学会・会員:3,000 円, その他:4,000 円, 学生:1,000 円. 参加申込締切日後の受付はできませんので, ご了承ください.

情報交換会 終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します(会費 1,000 円). 参加申込締切後のご参加はできませんので, ご了承ください.

申込締切日 6 月 13 日 (火) (入金締切時刻:15 時まで)

申込方法

- 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先(電話番号), LC 会員・協賛学会会員・その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ, お申込みください. なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください.
- お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス宛に「第 384 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます. メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください.
- 申込み受付のメールを受領後, 必ず期限内に参加費の納入を行ってください. 期限内に参加費納入が確認できない場合, 参加申込みを無効とし参加 URL を発行しませんので, 十分ご注意ください. なお, 一旦納入された参加費は, 返金いたしません.
- 参加費の納入が確認できた方には, 2023 年 5 月 19 日以降に①例会サイト入場 URL と②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします. また, 情報交換会参加費納入者には, ③情報交換会サイト入場 URL をお知らせいたします. なお, 請求書と領収書の発行はいたしておりません. 領収書は, 振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます.

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意

例会参加費, 情報交換会参加費を送金される場合, 下記を禁止しておりますので, ご理解のほどよろしくお願いたします.

- 複数例会の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/kT5nwwVq1qx7VKKQ8>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341 口座名義:シャ)ニホンブンセキカガクカイ(公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会)

問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 東ソー(株) 伊藤誠治
[E-mail: seiji-ito-pn@tosoh.co.jp]

第 90 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会 第 122 回計測自動制御学会力学量計測部会 第 40 回合同シンポジウム

主催 (公社)日本分析化学会有機微量分析研究懇談会

共催 (公社)計測自動制御学会力学量計測部会

協賛 (公社)日本分析化学会, (公社)日本化学会, (公社)日本薬学会

期日 2023 年 6 月 22 日 (木)・23 日 (金)

会場 オンライン

プログラム

1 日目 (22 日)

10:10~11:10 Oral Presentation 1

OG-01 新しい 1 キログラムの作り方 (産業技術総合研究所) ○倉本直樹, 水島茂喜, 狩野祐也, 藤田一慧, 大田由一, 張ルウルウ, 東 康史, 黒河 明, 大久保章, 稲場 肇

OG-02 使用環境が電子天びんを用いた計量に与える影響と想定されるリスクに応じたサンプル量の最適化 (ザルトリウス・ジャパン) 原 茉純, 矢倉峰伯, ○五味淳, 松岡広一

OG-03 定量 NMR 法によるフェノール化合物の純度測定における水酸基シグナルの活用 (日本食品分析センター) ○加藤 毅, 山本佳奈, 水口恵美子, 笛木周平

11:20~12:00 Oral Presentation 2

OG-04 ハロゲン定量のためのルーチン分析法について (静岡県立大学) ○佐藤綾子

OG-05 イオンクロマトグラフィーによる千葉県下のかん水および温泉水中のヨウ素の分析 (日本大学¹, 日本大学習志野高等学校², ナックテクノサービス³) ○吉川賢治¹, 井上みどり², 遠山岳史¹, 長嶋 潜³

12:00~14:10 休憩・ランチタイム企画

14:10~15:10 Oral Presentation 3

OY-01 可動式マイクロプラズマトーチを搭載した薄層クロマトグラフィー用コンピュータ数値制御原子発光プレートリーダーの試作 (日本大学) ○吉田直樹, 伊東良晴, 中釜達朗

OY-02 新規ビス (12-クラウン-4) 誘導体の合成とイオンセンサーへの応用 (千葉大学) ○井野喜康, 若林宏斗, 勝田正一

OY-03 簡易オートメーションシステムを用いた β カルボリン類における結晶多形制御 (千葉大学) ○近藤俊, 榎飛雄真

15:20~16:20 Plenary Lecture 1

PL-01 化学技術者教育を志向した分析システムの開発 (日本大学) 中釜達朗

2 日目 (23 日)

10:05~11:05 Oral Presentation 4

OY-04 Pyrrolic 窒素が制御された炭素材料の合成 (千葉大学) ○佐藤有紗, 郷田 隼, 佐藤智司, 山田泰弘

OY-05 ピリジニック窒素を含有する構造制御された炭素材料の合成 (千葉大学¹, 日本触媒²) ○蒲 荔芝¹, 山本うらら¹, 郷田 隼², 佐藤智司¹, 山田泰弘¹

OY-06 含窒素官能基が制御された炭素材料の合成 (千葉大学) ○根岸佑衣, 郷田 隼, 佐藤智司, 山田泰弘

11:15~11:55 Oral Presentation 5

OY-07 エチル基含有芳香族化合物による含窒素炭素材料の構造制御 (千葉大学) ○近藤 烈, 郷田 隼, 佐藤智司, 山田泰弘

OY-08 含窒素炭素材料における 1,10-Phenanthroline 骨格の制御と解析 (千葉大学) ○鈴木峻伸, 田口廣臣, 佐藤智司, 山田泰弘

11:55~14:00 休憩・ランチタイム企画

14:00~15:00 Oral Presentation 5

OG-06 有機元素分析の標準試料に求められる性質とは
(標準試料ワーキンググループ報告: 関連分析法検討
チーム) (埼玉大学¹, 東京大学², 明星大学³) ○加藤美
佐¹, 坂本和子², 上本道久³

OG-07 有機化合物を俯瞰し, 代表する化合物を見出す
(有機元素分析用標準試料ワーキンググループ報告: ラ
インナップ検討チーム) (東京大学¹, 埼玉大学², 岩手
大学³, 山形大学⁴, 日本大学⁵, 明星大学⁶) ○坂本和
子¹, 佐藤重矢子², 水戸部祐子³, 水沼里美⁴, 高木美
緒⁵, 上本道久⁶

OG-08 有機元素分析値の取り扱い法アップデートのた
めの文献調査 (標準試料ワーキンググループ報告: 数値
表現・統計方法検討チーム) (東京大学¹, 愛媛大学²,
明星大学³) ○坂本和子¹, 鎌田浩子², 上本道久³

15:10~16:10 Plenary Lecture 2

PL-02 分離法・分析法としての液液抽出の新たな可能性
(千葉大学) 勝田正一

参加登録費 主催・共催および協賛学会会員: 3,000円 (5月
19日(金)まで), 3,500円 (5月20日(土)以降), 非会
員: 5,000円, 学生: 2,000円, 講演要旨集のみ(送料込):
3,000円

申込・問合せ先 〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1-33 千葉大
学共用機器センター 榊飛雄真

[電話: 043-290-3810, E-mail: orgmicro-sympo@jsac.jp]

ホームページ

<http://www.jsac.or.jp/~orgmicro/sympo2023>

第382回ガスクロマトグラフィー研究会講演会

主催 ガスクロマトグラフィー研究懇談会

期日 2023年6月23日(金) 13:00~17:00

会場 北とびあ [東京都北区王子1-11-1]

講演主題 試料前処理・導入法の最新技術と基礎を学ぶ

参加費 GC研究懇談会会員: 無料, GC研究懇談会会員外:
3,000円, 学生: 1,000円

詳細はガスクロマトグラフィー研究懇談会のwebページに掲
載いたします。

(<http://www.jsac.or.jp/~gc/>)

北陸地区講演会

主催 (公社)日本分析化学会中部支部

期日 2023年7月7日(金) 14時~17時

会場 金沢大学自然科学系図書館棟1階大会議室 [金沢市角間
町, 交通 バスを利用する場合: JR金沢駅兼六園口(東口)
6番乗り場より乗車, 「金沢大学自然研前」下車]

講演

1. イオン化効率向上を戦略とするESI-MSの高感度化とバ
イオマーカ分析への応用 (岐阜薬大) 江坂幸宏
2. 海洋植物プランクトンに対する銅毒性の化学的評価法
(金沢大理工) 黄 国宏
3. ナノ・マイクロポアセンサを用いたイオン電流計測に基
づく単一微粒子分析
(名古屋大未来社会創造機構) 有馬彰秀

参加費 無料

意見交換会等 講演会終了後金沢駅周辺で行います。詳細(会
場, 会費等)につきましてはお問い合わせください。参加希

望者は6月16日(金)までに, E-mailにて下記の申込先ま
でお申し込みください。なお, 件名に「講演会」または「意
見交換会」を入れてください。

申込・問合せ先 〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学理
工研究域物質化学系 西山嘉男 [電話: 076-264-5704,
E-mail: yosil166@se.kanazawa-u.ac.jp]

第28回高分子分析討論会 (高分子の分析及びキャラクタリゼーション) —研究発表募集—

主催 (公社)日本分析化学会高分子分析研究懇談会

高分子分析・特性解析全般に関する討論です。高分子分析は
物性発現機構を解明し, 構造設計の指針を得る基盤であり, そ
の重要な認識は高まっています。高分子分析・キャラクタリ
ゼーションを対象とした本討論会の内容は, 化学的手法, 分光
学的手法, 各種クロマトグラフ法, 熱分析法などによる組成,
分子構造, 高次構造, 構造と物性の相関, 物性発現機構, 重合
機構等の解析に関する基本原理, 手法開発, 解析実例などに及
びます。

期日 2023年11月9日(木)・10日(金)

会場 つくば国際会議場 [茨城県つくば市竹園2-20-3, 交
通: つくばエクスプレス「つくば」駅徒歩10分]

<http://www.epochal.or.jp/>

発表形式 (COVID-19の感染状況によって変更になる場合が
あります)

討論を重視するため, 発表はすべてポスター発表のみとし,
これに先立って2分半の口頭による概要説明を行います。こ
のほか特別講演を予定しています。優秀なポスターへの表
彰を予定しております。

研究発表会申込方法

1. 発表内容には既発表のものを含んでいても構いません。
また, 新しい試みであれば, 研究途中のものでも差し支
えありません。
2. 高分子分析研究懇談会ホームページからお申し込みくだ
さい。ホームページからの申し込みができない場合には,
下記に問い合わせてください。
3. 講演要旨執筆要領はホームページに掲載します。
4. ポスター発表のプログラム編成は実行委員会に一任願
います。

発表申込締切 7月7日(金)

発表要旨締切 8月25日(金)

研究発表申込先 高分子分析研究懇談会ホームページ
(<http://www.pacd.jp/>)

参加費 予約登録 (10月13日締切): 一般10,000円,
学生2,000円, 当日登録 (10月13日以降):
一般14,000円, 学生3,000円

発表者は第28回高分子分析討論会の参加登録もお願いいた
します。

問合せ先 〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1
明治大学理工学部 応用化学科 本多貴之

[電話: 044-934-7212, E-mail: pacd-touron@pacd.jp]

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

プラズマ分光分析研究会第119回講演会
—プラズマ分光・質量分析法での検出下限値は
どこまで下がるのか?—

主催 プラズマ分光分析研究会
期日 2023年5月12日(金)
会場 東京電機大学東京千住キャンパス5号館2階5203セミ
ナー室およびZoomによるオンライン
ホームページ <https://plasma-dg.jp/>
連絡先 プラズマ分光分析研究会事務局 梅村知也
〔電話・FAX: 042-816-3001, E-mail: office@plasma-dg.jp〕

第58回真空技術基礎講習会

主催 (公社)日本表面真空学会
期日 2023年5月23日(火)~26日(金)
会場 大阪産業技術研究所本部・和泉センター
ホームページ <https://www.jvss.jp/>
連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル5
階 (公社)日本表面真空学会〔電話: 03-3812-0266,
FAX: 03-3812-2897, E-mail: office@jvss.jp〕

日本アミノ酸学会第7回産官学連携シンポジウム
「日本のたんぱく質栄養~新知見と次世代への提案」

主催 日本アミノ酸学会
期日 2023年6月2日(金)
会場 東京大学農学部弥生講堂一条ホール
ホームページ <http://www.asas.or.jp/jsaas/>
連絡先 第7回産官学連携シンポジウム実行委員長 木ノ内俊
〔電話: 080-8077-3144, E-mail: toshi.kinouchi@meiji.com〕

第26回IUPAC化学熱力学国際会議
26th International Conference on
CHEMICAL THERMODYNAMICS (ICCT-2023)

主催 日本熱測定学会及びInternational Association of
Chemical Thermodynamics (IACT)
期日 2023年7月30日(日)~8月4日(金)
会場 千里ライフサイエンスセンター
ホームページ
<https://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/lab/micro/ICCT2023/>
連絡先 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮澤ビ
ル601 日本熱測定学会
〔E-mail: icct2023_office@chem.sci.osaka-u.ac.jp〕

第34回日本微量元素学会学術集会

主催 (一社)日本微量元素学会
期日 2023年9月15日(金)・16日(土)
会場 三鷹産業プラザ
ホームページ <http://brte2023.kenkyuukai.jp/>
連絡先 〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20 武蔵野大
学薬学部 生命分析化学研究室 第34回日本微量元素学
会学術集会事務局〔電話: 042-468-9335, E-mail: BRTE2023
@musashino-u.ac.jp〕

第72回ネットワークポリマー講演討論会

主催 合成樹脂工業協会
期日 2023年10月25日(水)~27日(金)
会場 東京工業大学すずかけ台キャンパスすずかけ台学生会館
(すずかけホール)
ホームページ <https://www.jtpia.jp/>
連絡先 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-10-4 丸石ビ
ルディング6F 合成樹脂工業協会 ネットワークポリマー
講演討論会事務局〔電話: 03-5298-8003, FAX: 03-5298-
8004, E-mail: atsushi.otaki@jtpia.jp〕

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第12号に分析化学討論会特集号と
して、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載してお
ります。第83回分析化学討論会では、「生命を観る・測るバイ
オ分析の最前線」、「Next Gen」化学センシング~次世代化学
センシングの方法論・デバイス開発の最前線~、「流れ分析法
の新展開と社会への貢献」、「より迅速で、より簡便な分析化学
を目指して」、「未来の「食」と「薬」を創る分析化学」の5
テーマを討論主題として取り上げました。

一方、新型コロナウイルス感染症は、発生から3年余り経た
今年5月によりやく5類感染症へと引き下げられましたが、こ
の間、世界中で人々の生活に大きな変化をもたらしました。

そこで2023年度の分析化学討論会特集号では、5つの討論
主題を「ポストコロナ時代の分析化学」と位置づけ、第83回
分析化学討論会で設けた討論主題5テーマに関する論文を広く
募集します。多数のご投稿をお待ちしております。詳細は「分
析化学」72巻6号及びホームページをご覧ください。

特集論文の題目: 「ポストコロナ時代の分析化学」

特集論文の対象: 第83回分析化学討論会討論主題の下記5
テーマに関する論文。(討論会での発表の有無は問わない)

「生命を観る・測るバイオ分析の最前線」、「Next Gen」化
学センシング~次世代化学センシングの方法論・デバイス開
発の最前線~、「流れ分析法の新展開と社会への貢献」、「よ
り迅速で、より簡便な分析化学を目指して」、「未来の「食」
と「薬」を創る分析化学」

特集論文の申込締切: 2023年7月7日(金)

特集論文の原稿締切: 2023年8月11日(金)

「分析化学」 年間特集 “分” の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画し、節目の15年目に当たる2024年は「分」をテーマとすることと致しました。

本特集では「分」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第73巻(2024年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「分」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページをご参照ください。

特集論文の対象：「分」に関連した分析化学的な基礎・応用研究に関する論文。例を以下に示します。

- 1) 環境水や体液といった液体試料を分析するための前処理分離に関する研究、2) さまざまな物質中から測定対象物質を分離抽出する技術に関する研究、3) 環境からの有害物質の除去・有用物質の回収に関する研究、4) クロマトグラフィーに関する基礎・応用研究、5) 分離のシミュレーションを活用した分析化学的研究、6) 生体サンプル中のバイオマーカー検出に関する研究。

特集論文申込締切：2023年7月21日(金) (第1期)

特集論文原稿締切：2023年8月18日(金) (第1期)

初めて書く論文は母語の日本語で！
“第22回若手研究者の初論文特集”
募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2023年(第72巻)に第22回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

『ぶんせき』再録集 vol. 1~3 出版のお知らせ

ぶんせき誌の過去記事の有効利用の一環として、記事をまとめて書籍化するという試みを行っています。2021年5月10日に、『ぶんせき』再録集 vol. 1 が出版されました。この巻には、2011年から2020年まで、10年間分の〈ミニファイル〉の記事が詰まっています。たっぷり256ページ、2,750円(税込み)のお値打ち本です。多岐にわたる『知って得する分析化学の豆知識』を堪能できます。本書は下記10章からなり、それぞれに12から14の話題が集められています。

1. 実験器具に用いられる素材の特徴
2. 分析がかかわる資格
3. 顕微鏡と画像データ処理

4. 最新のweb文献検索データベース
5. ポータブル型分析装置
6. 分析化学と材料物性
7. 分析化学者のための多変量解析入門
8. 土壌分析
9. サンプルング
10. 前処理に必要な器具や装置の正しい使用方法

過去のミニファイルをファイリングしておきたいときに、初学者への参考書をお探しのときに、また、非学会員の方に分析化学会のアピールをしたいときに、ぜひご活用ください。本書はアマゾンオンデマンド出版サービスを利用して出版した書籍ですので、書店には並びません。アマゾンサイトからのネット注文のみとなりますので、ご注意ください。ネットで「ぶんせき再録集」と入力して検索しても、すぐに出てきます。詳しくは「ぶんせき」誌ホームページをご確認ください。



日本分析化学会の機関月刊誌『ぶんせき』の再録集 vol. 2 が出版されました！初学者必見！正しく分析するための241ページです。

本書は書籍化の第二弾として、「入門講座」から分析試料の取り扱いや前処理に関する記事、合計36本を再録しました。

『ぶんせき』では、分析化学の初学者から専門家まで幅広い会員に向けて、多くの有用な情報を提供し続けています。これまで掲載された記事には、分析化学諸分野の入門的な概説や分析操作の基礎といった、いつの時代でも必要となる手ほどきや現役の研究者・技術者の実体験など、分析のノウハウが詰まっています。

本書は下記の二章だてとなっています。

- 〈1章 分析における試料前処理の基礎知識〉
 1. 土壌中重金属分析のための前処理法
 2. 岩石試料の分析のための前処理法
 3. プラスチック試料の分析のための前処理法
 4. 金属試料分析のための前処理
 5. 分析試料としての水産生物の特徴と取り扱い
 6. 食品分析のための前処理法
 7. Dried blood spot 法による血液試料の前処理
 8. 生体試料のための前処理法(液-液抽出)
 9. 生体試料のための前処理法(固相抽出)
 10. 環境水試料の分析のための前処理法
 11. 大気中揮発性有機化合物分析のための前処理
 12. 放射性核種分析のための前処理法
 13. 脂質分析のための前処理法
 14. 糖鎖分析のための試料前処理
 15. イムノアッセイのための前処理法
 16. 加速器質量分析における超高感度核種分析のための試料前処理法
 17. 生元素安定同位体比分析のための試料前処理法
 18. セラミックス試料分析のための前処理法
- 〈2章 分析試料の正しい取り扱いかた〉
 1. 生体(血液)
 2. 生体(毛髪)
 3. 金属(非鉄金属)
 4. 金属(鉄鋼)
 5. 食品(酒類)
 6. 医薬品(原薬・中間体・原料)
 7. 海水(微量金属)
 8. 考古資料
 9. 海底下の試料(地球深部の堆積物および岩石)
 10. 岩石
 11. 食品(農産物の残留農薬)
 12. ガラス
 13. 環境(陸水)

14. 温泉付随ガス
15. 透過電子顕微鏡観察の試料調整
16. 環境（ダイオキシン類）
17. 高分子材料
18. 沈降粒子

なお、『ぶんせき』掲載時から数年が経過しているため、記事の中には執筆者の所属も含め、部分的に現在の状況とは異なる内容を含むものがあるかもしれません。本書では、各記事の『ぶんせき』掲載年を明記することで、再録にともなう本文改稿を割愛しました。これらの点については、執筆者および読者の方々にご了承いただきたく、お願い申し上げます。

本シリーズが化学分析の虎の巻として多くの方に活用されることを願ってやみません。



日本分析化学会の機関月刊誌『ぶんせき』の再録集 vol. 3 が出版されました！初学者必見！質量分析・同位体分析の基礎が詰まった 293 ページです。

本書は書籍化の第三弾として、「入門講座」から、質量分析・同位体分析の基礎となる記事、合計 42 本を再録しました。

『ぶんせき』では、分析化学の初学者から専門家まで幅広い会員に向けて、多くの有用な情報を提供し続けています。これまで掲載された記事には、分析化学諸分野の入門的な概説や分析操作の基礎といった、いつの時代でも必要となる手ほどきや現役の研究者・技術者の実体験など、分析のノウハウが詰まっています。

〈2003 年掲載 1 章 質量分析の基礎知識〉

1. 総論
2. 装置
3. 無機物質のイオン化法
4. 有機化合物のイオン化法
5. ハイフェネーテッド質量分析 I
6. タンデムマススペクトロメトリー
7. 無機材料の質量分析
8. 生体高分子の質量分析
9. 医学、薬学分野における質量分析法
10. 食品分野における質量分析法
11. 薬毒物検査、鑑識分野における質量分析法
12. 環境化学分野における質量分析法

〈2009 年掲載 2 章 質量分析装置のためのイオン化法〉

1. 総論
2. GC/MS のためのイオン化法
3. エレクトロスプレーイオン化—原理編—
4. エレクトロスプレーイオン化—応用編—
5. 大気圧化学イオン化
6. 大気圧光イオン化
7. レーザー脱離イオン化
8. イオン付着質量分析
9. リアルタイム直接質量分析
10. 誘導結合プラズマによるイオン化
11. スタティック SIMS
12. 次世代を担う新たなイオン化法

〈2002 年掲載 3 章 同位体比分析〉

1. 同位体比の定義と標準
2. 同位体比測定の精度と確度
3. 同位体比を測るための前処理法
4. 同位体比を測るための分析法
5. 生元素の同位体比と環境化学
6. 重元素の同位体比

〈2016 年掲載 4 章 精密同位体分析〉

1. 同位体分析の基本原理
2. 表面電離型質量分析計の原理
3. 表面電離型質量分析計の特性とその応用

4. ICP 質量分析法による高精度同位体分析の測定原理
 5. マルチコレクター ICP 質量分析装置による金属安定同位体分析
 6. 加速器質量分析装置の原理
 7. 加速器質量分析の応用
 8. 小型加速器質量分析装置の進歩と環境・地球化学研究への応用
 9. 二次イオン質量分析装置の原理
 10. 二次イオン質量分析計を用いた高精度局所同位体比分析手法の開発と応用
 11. 精密同位体分析のための標準物質
 12. 質量分析を用いた化合物同定における同位体情報の活用
- なお『ぶんせき』掲載時から古いものでは 20 年が経過しており、執筆者の所属も含め現在の状況とは異なる内容を含む記事もありますが、『ぶんせき』掲載年を明記することで再録にともなう本文改稿を割愛しました。これらの点については、執筆者および読者の方々にご了承いただきたく、お願い申し上げます。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020 年 4 月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdf ファイルを進呈することにいたしました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式（ P ：印刷ページ数）（単位：円）

会員の場合： $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ （印刷ページ数が 14 ページ以上は一律 80,000 円）

会員外の場合： $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ （印刷ページ数が 14 ページ以上は一律 90,000 円）

* 上記に消費税がかかります。